

社会で働く  
グローバル人材  
育成プログラム

# GCEP

Global  
Competency  
Enhancement  
Program

立命館アジア太平洋大学は  
企業人のグローバル対応力強化を  
サポートします。

Global Competency Enhancement Program

Global Competency Enhancement Program (GCEP:ジーセップ)  
多様性のなかで多角的に学び、  
世界で活躍する人材へ!

## プログラムの目的とねらい



立命館アジア太平洋大学  
社会連携部長

藤田 正典 (国際経営学部 教授)

### グローバル化するビジネス環境への取組み

企業のグローバル事業展開の拡大に伴い、グローバル人材育成や組織のダイバーシティ&インクルージョン\*の重要性が一層高まっています。

立命館アジア太平洋大学のGCEPは、このようにグローバル化するビジネス環境に適應するスキルは、高い専門知識・言語運用能力・異文化適應力・課題解決力・リーダーシップと考えます。

APUのアクティブラーニングを多く取り入れた英語で行われる専門科目講義、英語ネイティブ教員の元で国際学生(留学生)と行う実践英語運用トレーニング、多国籍な学生との日常における異文化理解・適應・交渉、多国籍チームで協働するプロジェクトへの取組みを通じて、世界水準の専門知識、ツールとしての英語運用能力、多様な価値観への理解と適應する能力、課題解決力やリーダーシップを身に付け、国内外のグローバル環境で活躍できる人材の育成を目指します。

\*ダイバーシティ&インクルージョンとは、年齢・ジェンダー・人種・民族という外見的な違いはもちろん、個性・知識・価値観・性格・宗教など内面的にもさまざまな違いがあり、その違いを受け入れ、認め合い、生かすことを意味します。

## プログラムの特徴



\*イマージョンとは、目標とする言語に浸りきって修得する教育方法



## プログラムの内容

01

## 多国籍教員が 英語で行う大学講義

英語で開講される科目の中からグローバル人材として必要とされる指定の4科目を履修し、英語による知識修得を目指します。APUでは、受講者が能動的に参加し、自ら考えを深めることを目的とした学習法である、アクティブラーニング式の講義を多く取り入れています。従来の一方通行の講義形式とは異なり、授業内で任意に組まれたチームで行うグループディスカッションやプロジェクトベースの学習を通じて受講者自身が調査や発見を行いながら課題解決に取り組むスタイルです。アクティブラーニングにより、多国籍学生と英語でディスカッションやワークを頻繁に行うことで、論理的思考を鍛錬するとともに、相手の意見に耳を傾けつつ発信するグローバルコミュニケーション能力も身につきます。科目ごとに理解度を評価する期末試験やレポート提出等が求められ、合格すると単位を取得することが可能です。

02

## 英語ネイティブ教員による 実践英語運用トレーニング

APU言語教育センターの英語ネイティブ教員による実践型講義を受講します。実際のビジネスシーンを想定し、全セッションにおいてコミュニケーションのパートナーとなる国際学生(留学生)がトレーニングを全面的にサポートします。社会問題をテーマにしたディベートやディスカッション等も行われ、グローバル環境で必須となる英語コミュニケーション能力、英語プレゼンテーション能力を徹底的に鍛えます。



03

## 異文化を理解する 国際教育寮滞在

50を超える国と地域の学生が生活している国際教育寮「APハウス」に2か月間滞在し、生活を通じて日常に存在するさまざまな異文化を体感、グローバルマインドセットの定着を促します。国や地域、宗教や信条など相手の文化や価値観を理解、尊重し適応するプロセスを体験することで、ビジネスにおけるカウンターパートとのコミュニケーションを円滑に進める力を育む効果が見込まれます。



04

## 多国籍チームで協働する プレゼンテーション作成

研修開始時より多国籍な学生と週に一度のグループセッションを行い、プログラムでの学びを総括するプレゼンテーションを作成、研修終盤に開催される成果報告会にて発表を行います。2か月にわたり多国籍なメンバーとともに取り組むことで、多様性ある環境において協働することの課題や解決策、リーダーシップのあり方を体感、実践します。日本型プレゼンからの脱却と国際舞台で活用できるプレゼン手法の獲得も目指します。



## カリキュラム(例)

### Weekly Schedule

		Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1限	8:45~10:25	経営学	予習・復習	予習・復習	マーケティング論	予習・復習
2限	10:35~12:15	経営学	社会学	予習・復習	マーケティング論	昼休憩
3限	12:30~14:10	昼休憩	社会学	昼休憩	昼休憩	成果報告・発表準備
4限	14:20~16:00	政治学	昼休憩	予習・復習	予習・復習	政治学
5限	16:10~17:50	英語講座	英語講座	予習・復習	英語講座	英語講座

※科目・時間割はイメージです。実際の受講科目は参加クォーターにより異なります。





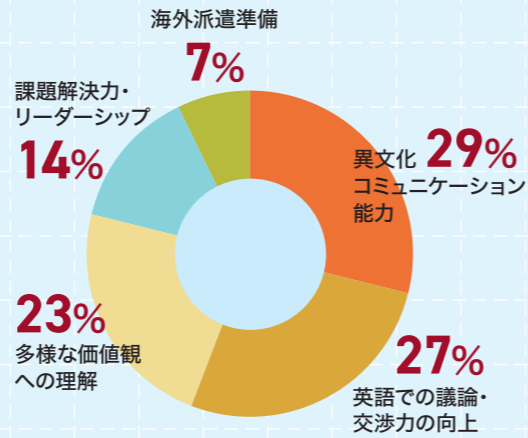
派遣企業人事ご担当者様の声

01 多様性を重視した人材戦略推進

派遣した理由・目的

- 異文化環境でのコミュニケーション力向上
- グローバル展開を目指した世界で活躍できるグローバル人材の育成
- 英語力の向上と異文化理解

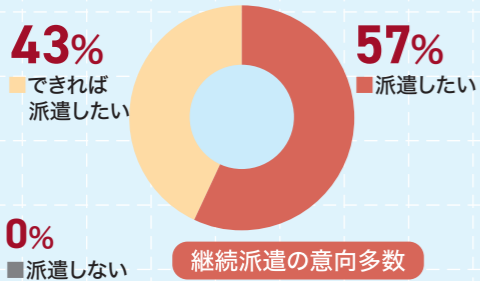
02 期待していた成果



- ① 異文化コミュニケーション能力 29%
- ② 英語での議論・交渉力の向上 27%
- ③ 多様な価値観への理解 23%
- ④ 課題解決力・リーダーシップ 14%
- ⑤ 海外派遣準備 7%

03 継続派遣意向

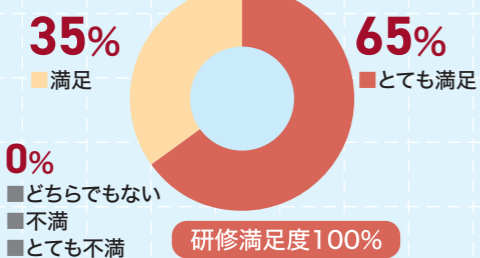
継続派遣意向



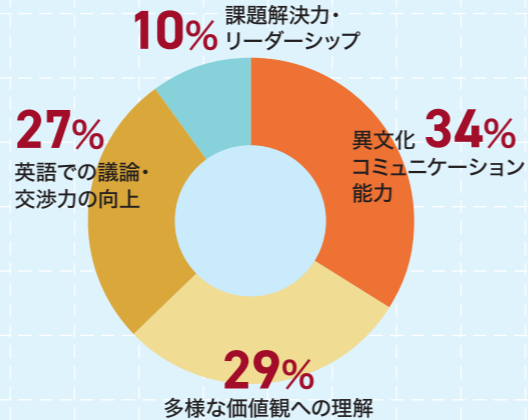
研修生の声と研修後のご活躍

01 研修満足度

研修満足度



02 印象に残っている学びや経験



- ① 異文化コミュニケーション能力 34%
- ② 多様な価値観への理解 29%
- ③ 英語での議論・交渉力の向上 27%
- ④ 課題解決力・リーダーシップ 10%

03 活用している経験やスキル

活用している経験やスキル

- 現在アメリカ駐在中であり、研修で得た語学力をはじめ異文化コミュニケーション能力を発揮できている
- 海外事業において文化や国民性への理解がスムーズになった
- 自分と相手は価値観が異なる場合があるということを念頭に置くようになった
- 意見相違がある際には、まず相手の話をしっかり聞き、解決策を見出せるようになった

04 受講した感想

受講した感想

- 不動産業 女性 27歳**  
国内にいながらもこれだけグローバルな環境に身を投じる事ができたのは本当に貴重な機会でした。語学力の向上だけでなく、自らの視野や価値観の幅を大きく広げることができ、自身のキャリアを見つめ直すきっかけにもなりました。学習だけでなくプログラムを通じてできた仲間との交流も楽しみながら短期間ではあるものの、その中で自分の大きな成長を感じることができました。
- 製造業 男性 26歳**  
GCEPは想像以上に過酷なプログラムです。多くの授業、大量の課題、コミュニケーションエラーや自身の英語力の不足など、あらゆる困難に直面することになります。しかしながら、それらを越えた先には間違いのない成長が待っています。英語力やコミュニケーション力に自信がない人にこそ、このプログラムの受講を推奨したいです。手厚いサポートの元、スキルアップを図れる最良の機会です。
- 金融業 男性 27歳**  
多国籍な学生と講義はもちろん、寮生活を送った2ヶ月間は一生の財産となりました。2ヶ月の経験から生涯の自信をつけることができました。

立命館アジア太平洋大学 (APU) とは

立命館アジア太平洋大学は、「自由・平和・ヒューマンイズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、世界各国・地域から未来を担う若者が集い、ともに学び、生活し、相互の文化や習慣を理解し合い、人類共通の目標を目指す知的創造の場として、2000年4月1日、大分県別府市に開学しました。

現在、アジア太平洋学部、国際経営学部、サステイナビリティ観光学部の3学部にて約6,000人が在籍しています。学生の約半数は世界110以上の国・地域から日本へ学びにきた国際学生(留学生)です。また、教職員の約半数も外国籍で、授業の95%は日本語と英語の両方で開講されるため、日本語で学べる専門分野のほとんどを英語でも学ぶことができます。

APUの多文化共生型キャンパス

APUの最も特徴的な点は、多様性に富んだ環境です。英語だけではなく数多くの言語が飛び交い、さまざまな文化や考え方が交差するキャンパスでは、他者と協働し対話を軸に対立を乗り越える術、異なる文化との衝突や遭遇したことのない困難への耐性、

多様な視点やアイデアから新しい価値を創造する力を育むことが期待されます。APUの多文化共生キャンパスは常に世界を感じながらグローバル人材に必要なスキルとD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)の重要性を日々学べる環境です。



APUの国際教育寮 APハウス



世界各国・地域の国際学生と日本人学生が共に暮らす国際教育寮「APハウス」では、約1,600人が生活しています。国際学生と国内学生の比率は5:5です。

が居住しています。RAは寮生の生活サポートや交流促進の役割を担っています。

学生の成長を支援するために教職員を配置しているほか、寮生が異文化・多文化環境での暮らしを始めるにあたって必要な支援をするレジデント・アシスタント(RA)と呼ばれる先輩学生

APハウスでは、多国籍学生と寝食を共にするなかで国境を越えた絆が生まれ、世界を生き抜く力を養う海外留学以上に刺激的な生活が待っています。

お問い合わせ先

立命館アジア太平洋大学  
アウトリーチ・リサーチ・オフィス(戦略企画チーム)  
GCEP事務局

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1  
TEL:0977-78-1136  
E-mail:gcep@apu.ac.jp

HP: <https://www.apu.ac.jp/home/business/content11/>

